

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number : 2000-228704

(43) Date of publication of application : 15. 08. 2000

(51) Int. Cl. H04M 11/08
H04Q 7/38
H04M 1/00
H04M 11/00

(21) Application number : 11-333877 (71) Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

(22) Date of filing : 25. 11. 1999 (72) Inventor : KANDA AKIRA
KAGAMI KENICHI

(30) Priority

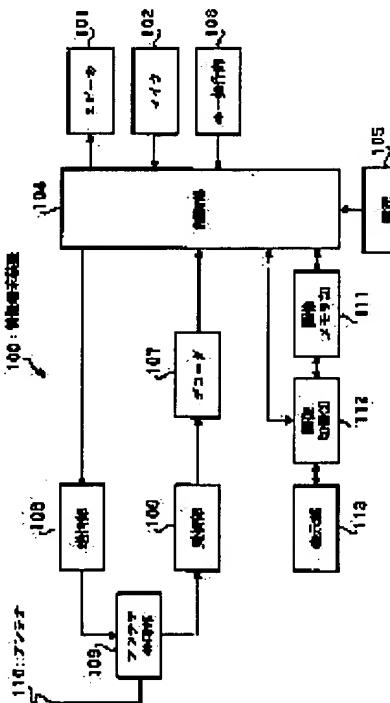
Priority number : 10341951 Priority date : 01. 12. 1998 Priority country : JP

(54) RADIOTELEPHONE SYSTEM AND ITS METHOD

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To attain an immediate speech on the necessity of an emergency call and to sufficiently enhance the effect of advertisement by avoiding a decreased capacity of a channel for the purpose other than a speech after channel connection.

SOLUTION: An ID collation section (205) collates a user ID received by an advertisement server (200) with a registration user ID registered in advance, an information retrieval section (207) reads advertisement information to display an advertisement image or text from an advertisement information memory section (208) when both IDs accord with, a multiplexer section (209) multiplexes this advertisement information on a control signal and transmits the resulting signal in an advertisement server (200). Then an information terminal 100 transmits the control signal on which the user ID of an advertisement reception contractor is superimposed to the advertisement server (200) for a standby time after application of power under the control of a control section 104 and receives the advertisement information sent from the advertisement server (200), stores the advertisement information to an image memory section 111 and displays the stored advertisement information on a display section 113 in the case of making dialing.



Best Available Copy

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]
[Date of sending the examiner's decision of rejection]
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]
[Date of final disposal for application]
[Patent number]
[Date of registration]
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C) ; 1998, 2000 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2000-228704
(P2000-228704A)

(43) 公開日 平成12年8月15日 (2000.8.15)

(51) Int.Cl.⁷ 識別記号
H 04 M 11/08
H 04 Q 7/38
H 04 M 1/00
11/00 3 0 3

F I テーマコード^{*} (参考)
H 04 M 11/08
1/00 R
11/00 3 0 3
H 04 B 7/26 1 0 9 M
H 04 Q 7/04 D
審査請求 未請求 請求項の数25 O L (全 15 頁)

(21) 出願番号 特願平11-333877
(22) 出願日 平成11年11月25日 (1999.11.25)
(31) 優先権主張番号 特願平10-341951
(32) 優先日 平成10年12月1日 (1998.12.1)
(33) 優先権主張国 日本 (JP)

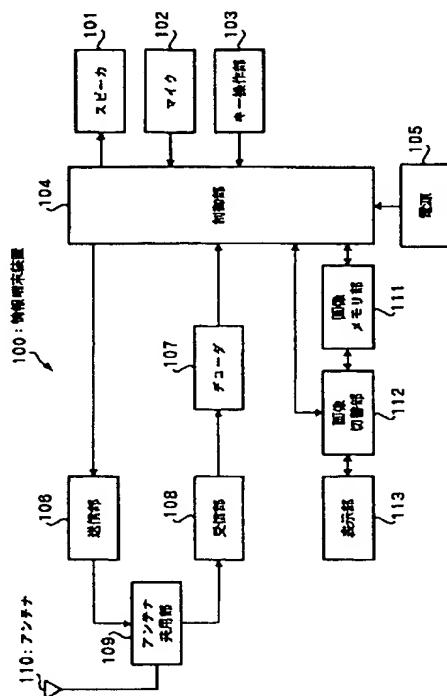
(71) 出願人 000005821
松下電器産業株式会社
大阪府門真市大字門真1006番地
(72) 発明者 勘田 晃
神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1
号 松下通信工業株式会社内
(72) 発明者 鎮 賢一
神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1
号 松下通信工業株式会社内
(74) 代理人 100105050
弁理士 篠田 公一

(54) 【発明の名称】 無線電話システム及び方法

(57) 【要約】

【課題】 回線接続後に通話以外の目的で回線のキャバシティを落とすことが無く、緊急発信時には即時通話を行うことができ、また広告の効果を十分に發揮すること。

【解決手段】 広告用サーバ200において、受信されたユーザIDが予め登録された登録ユーザIDとをID照合部205で照合し、双方が一致した際に、情報検索部207で、広告情報メモリ部208から広告画像又はテキストを表示するための広告情報を読み出し、この広告情報を多重化部209で制御信号に多重化して送信し、情報端末装置100において、制御部104の制御によって、電源投入後の待ち受け時に広告受信契約者のユーザIDが多重化された制御信号を広告用サーバ200へ送信すると共に広告用サーバ200から送信されてくる広告情報を受信して画像メモリ部111に記憶し、この記憶された広告情報を発呼時に表示部113に表示する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 受信されたユーザIDが予め登録された登録ユーザIDに一致した際に、広告画像又はテキストを表示するための広告情報を制御信号に多重化して送信するサーバと、電源投入後の待ち受け時に、広告受信契約者の前記ユーザIDが多重化された制御信号を送信すると共に前記サーバから送信されてくる広告情報を受信して記憶し、発呼時に前記記憶された広告情報を表示する情報端末装置と、を具備することを特徴とする無線電話システム。

【請求項2】 サーバは、一致ユーザIDの広告受信契約者の志向を示すユーザ情報を対応した広告情報を、制御信号に多重化して送信する機能、を具備することを特徴とする請求項1記載の無線電話システム。

【請求項3】 サーバは、広告情報の送信時に、予め広告主との間で取り決められた広告情報の配信先の数に対応する台数の前記情報端末装置へ広告情報を送信する機能、を具備することを特徴とする請求項1又は請求項2記載の無線電話システム。

【請求項4】 情報端末装置は、発呼時に前記記憶された広告情報を所定時間表示したのち回線接続を行う機能、を具備することを特徴とする請求項1から請求項3いずれかに記載の記載の無線電話システム。

【請求項5】 情報端末装置は、発呼が緊急発呼であれば広告情報の表示を行わず、即時回線接続を行う機能、を具備することを特徴とする請求項1から請求項4いずれかに記載の無線電話システム。

【請求項6】 情報端末装置は、回線接続時に広告情報表示以外の画面使用操作が行われた際に、広告情報の表示を消去する機能、を具備することを特徴とする請求項1から請求項5いずれかに記載の無線電話システム。

【請求項7】 サーバは、広告情報に広告主の電話番号を含めて送信し、情報端末装置は、広告表示操作に応じて任意の広告情報を表示し、この表示された広告情報の電話番号へ特定操作によって発呼する機能、を具備することを特徴とする請求項1から請求項6いずれかに記載の無線電話システム。

【請求項8】 情報端末装置は、表示された広告情報をクリックするための手段と、前記クリックされたことを示すクリック情報をユーザIDと共にサーバへ通知する手段を具備し、サーバは、前記通知されたクリック情報を前記ユーザID毎にカウントし、このカウント数に応じて課金を算出する手段を具備することを特徴とする請求項1から請求項7いずれかに記載の無線電話システム。

【請求項9】 広告情報を任意にコンテンツ情報に多重化して送信する手段と、通知されてくるユーザIDが対応づけられたクリック情報を前記ユーザID毎にカウントし、このカウント数に応じて課金を算出する手段とを有するサーバと、このサーバからの広告情報を表示する

手段と、この表示された広告情報をクリックするための手段と、そのクリックされたことを示すクリック情報をユーザIDを対応づけて前記サーバへ通知する手段とを有する情報端末装置と、を具備することを特徴とする無線電話システム。

【請求項10】 情報端末装置は、クリックされた広告情報の広告主を特定する特定情報をユーザIDと共にサーバへ通知する手段を具備し、サーバは、前記通知されたユーザID毎の特定情報をその広告主毎にカウントし、このカウント数に応じて課金を算出する手段を具備することを特徴とする請求項8又は請求項9記載の無線電話システム。

【請求項11】 サーバは、通知された特定情報に対応する広告情報の詳細情報を情報端末装置へ送信する手段を具備し、情報端末装置は、前記送信されてきた詳細情報を表示する手段を具備することを特徴とする請求項10記載の無線電話システム。

【請求項12】 サーバは、広告情報にその詳細情報を含めて送信する手段を具備し、情報端末装置は、表示された広告情報がクリックされた際に前記詳細情報を表示する手段を具備することを特徴とする請求項8から請求項10いずれかに記載の無線電話システム。

【請求項13】 情報端末装置は、広告情報がクリックされた際に、そのクリックされた広告情報の広告主のインターネットホームページへアクセスし、このアクセスに応じて受信された情報を表示する手段を具備することを特徴とする請求項8から請求項12いずれかに記載の無線電話システム。

【請求項14】 情報端末装置は、広告情報がクリックされた際に、そのクリックされた広告情報の広告主の電話番号へ発呼する手段を具備することを特徴とする請求項8から請求項12いずれかに記載の無線電話システム。

【請求項15】 サーバは、全情報端末装置から通知されたクリック情報をカウントすることを特徴とする請求項8から請求項14いずれかに記載の無線電話システム。

【請求項16】 サーバは、全情報端末装置から通知された特定情報をその広告主毎にカウントすることを特徴とする請求項8から請求項14いずれかに記載の無線電話システム。

【請求項17】 サーバは、カウントの数が予め定められた数となった際に、広告情報の配信を停止することを特徴とする請求項15又は請求項16記載の無線電話システム。

【請求項18】 サーバの機能を基地局装置に具備することを特徴とする請求項1から請求項17いずれかに記載の無線電話システム。

【請求項19】 サーバの機能を基地局制御装置に具備することを特徴とする請求項1から請求項17いずれか

に記載の無線電話システム。

【請求項20】 情報端末装置の機能を携帯電話機に具備することを特徴とする請求項1から請求項17いずれかに記載の無線電話システム。

【請求項21】 情報端末装置の機能を携帯テレビ電話機に具備することを特徴とする請求項1から請求項17いずれかに記載の無線電話システム。

【請求項22】 情報端末装置の機能を携帯型コンピュータに具備することを特徴とする請求項1から請求項17いずれかに記載の無線電話システム。

【請求項23】 サーバが、受信されたユーザIDが予め登録された登録ユーザIDに一致した際に広告画像又はテキストを表示するための広告情報を制御信号に多重化して送信し、情報端末装置が、電源投入後の待ち受け時に広告受信契約者の前記ユーザIDが多重化された制御信号を前記サーバへ送信すると共に前記サーバから送信されてくる広告情報を受信して記憶し、発呼時に前記記憶された広告情報を所定時間表示したのち回線接続を行い、情報端末装置の課金を前記広告情報に応じて算出することを特徴とする無線電話システムにおける広告情報配信方法。

【請求項24】 情報端末装置で、表示された広告情報をクリックされた際に、前記クリックされたことを示すクリック情報をユーザIDと共にサーバへ通知し、前記サーバで、前記通知されたクリック情報を前記ユーザID毎にカウントし、このカウント数に応じて課金を算出することを特徴とする請求項23記載の無線電話システムにおける広告情報配信方法。

【請求項25】 サーバから広告情報を送信し、情報端末装置で、前記広告情報を受信して表示し、この表示された広告情報をクリックし、このクリックされた広告情報の広告主を特定する特定情報をユーザIDと共に前記サーバへ通知し、前記サーバで、前記通知されたユーザID毎の特定情報をその広告主毎にカウントし、このカウント数に応じて課金を算出することを特徴とする無線電話システムにおける広告情報配信方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、無線電話回線を利用した画像の伝送及び表示機能を備える情報端末装置に、通話時に広告用サーバから送信されてくる広告画像及びテキストを受信して表示させることにより通話料金を安くすることが可能な無線電話システム及び方法に関する。

【0002】

【従来の技術】現在、無線電話装置において、回線接続直後に企業広告の音声が流れ、その際の通話料金が安くなるというサービスが考案されている。これは、接続業者が広告主から広告料金を徴収し、その分、通話料金を割引くという考え方のものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の装置においては、ユーザは回線接続直後に音声による広告が流れる間、通話することができず、その間、回線を占有するため、回線のキャパシティを落とすことになったり、また、110番や119番等の緊急時に即時通話が行えなくなるという問題がある。

【0004】また、音声による広告は魅力にも乏しく、広告の効果を十分に発揮することができないという問題がある。

【0005】本発明はかかる点に鑑みてなされたものであり、回線接続後に通話以外の目的で回線のキャパシティを落とすことが無く、緊急発信時には即時通話をを行うことができ、また広告の効果を十分に発揮することができる無線電話システム及び方法を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明は、広告用サーバが、受信されたユーザIDが予め登録された登録ユーザIDに一致した際に、広告画像又はテキストを表示するための広告情報を制御信号に多重化して送信し、情報端末装置が、電源投入後の待ち受け時に広告受信契約者のユーザIDが多重化された制御信号を広告用サーバへ送信すると共に広告用サーバから送信されてくる広告情報を受信して記憶し、発呼時に記憶された広告情報を所定時間表示したのち回線接続を行い、情報端末装置の通話料金を前記広告情報に応じて安価にする。

【0007】

【発明の実施の形態】本発明の第1の態様は、受信されたユーザIDが予め登録された登録ユーザIDに一致した際に、広告画像又はテキストを表示するための広告情報を制御信号に多重化して送信するサーバと、電源投入後の待ち受け時に、広告受信契約者の前記ユーザIDが多重化された制御信号を送信すると共に前記サーバから送信されてくる広告情報を受信して記憶し、発呼時に前記記憶された広告情報を表示する情報端末装置と、を具備する構成を探る。

【0008】この構成によれば、回線接続前に広告情報を受信して記憶し、この記憶広告情報を発呼時に表示するので、従来のように、回線接続後に音声広告が流れる間、回線占有のため回線キャパシティが落ちると言ったことが無くなり、広告情報の表示が、画像又はテキストによって行われるので、従来の音声による広告に比べ、視覚に訴えかける分、広告の効果を十分に発揮することができる。

【0009】本発明の第2の態様は、第1の態様において、サーバは、一致ユーザIDの広告受信契約者の志向を示すユーザ情報を対応した広告情報を、制御信号に多重化して送信する機能、を具備する構成を探る。

【0010】この構成によれば、情報端末装置に所有者

の志向に適合した広告内容が表示され、広告の効果をより向上させることができ、また、所有者が、より必要とする広告情報を表示する際にスピーディに検索することができる。

【0011】本発明の第3の態様は、第1の態様又は第2の態様において、サーバは、広告情報の送信時に、予め広告主との間で取り決められた広告情報の配信先の数に対応する台数の前記情報端末装置へ広告情報を送信する機能、を具備する構成を探る。

【0012】この構成によれば、一定の比率によって広告情報を配信することができる。

【0013】本発明の第4の態様は、第1の態様から第3の態様いずれかにおいて、情報端末装置は、発呼時に前記記憶された広告情報を所定時間表示したのち回線接続を行う機能、を具備する構成を探る。

【0014】この構成によれば、ユーザが通話を行う前に必ず広告情報を表示することができ、更に回線接続前に表示するので、従来のように回線占有のため回線キャパシティが落ちると言ったことが無くなる。

【0015】本発明の第5の態様は、第1の態様から第4の態様いずれかにおいて、情報端末装置は、発呼が緊急発呼であれば広告情報の表示を行わず、即時回線接続を行う機能、を具備する構成を探る。

【0016】この構成によれば、110及び119番等の緊急発呼には即時通話をを行うことができる。

【0017】本発明の第6の態様は、第1の態様から第5の態様いずれかにおいて、情報端末装置は、回線接続時に広告情報表示以外の画面使用操作が行われた際に、広告情報の表示を消去する機能、を具備する構成を探る。

【0018】この構成によれば、他の画像通信、画像撮影、アドレス表示、データ転送等での画像表示を行うことができる。

【0019】本発明の第7の態様は、第1の態様から第6の態様いずれかにおいて、サーバは、広告情報に広告主の電話番号を含めて送信し、情報端末装置は、広告表示操作に応じて任意の広告情報を表示し、この表示された広告情報の電話番号へ特定操作によって発呼する機能、を具備する構成を探る。

【0020】この構成によれば、ユーザが所望の広告主へ容易かつ迅速に発呼することができる。

【0021】本発明の第8の態様は、第1の態様から第7の態様いずれかにおいて、情報端末装置は、表示された広告情報をクリックするための手段と、前記クリックされたことを示すクリック情報をユーザIDと共にサーバへ通知する手段を具備し、サーバは、前記通知されたクリック情報を前記ユーザID毎にカウントし、このカウント数に応じて課金を算出する手段を具備する構成を探る。

【0022】この構成によれば、契約ユーザの情報端末

装置に表示された広告情報を、契約ユーザがクリックした回数に応じて、通話料金を安価とする課金を算出する際に、ユーザが広告を見てクリック動作を行ったことに対する課金が算出されるので、課金算出の根拠をより正確なものとすることができる。

【0023】本発明の第9の態様は、広告情報を任意にコンテンツ情報に多重化して送信する手段と、通知されてくるユーザIDが対応づけられたクリック情報を前記ユーザID毎にカウントし、このカウント数に応じて課金を算出する手段とを有するサーバと、このサーバからの広告情報を表示する手段と、この表示された広告情報をクリックするための手段と、そのクリックされたことを示すクリック情報をユーザIDを対応づけて前記サーバへ通知する手段とを有する情報端末装置と、を具備する構成を探る。

【0024】この構成によれば、契約ユーザの情報端末装置に表示された広告情報を、契約ユーザがクリックした回数に応じて、通話料金を安価とする課金を算出する際に、ユーザが広告を見てクリック動作を行ったことに対する課金が算出されるので、課金算出の根拠をより正確なものとすることができる。

【0025】本発明の第10の態様は、第8の態様又は第9の態様において、情報端末装置は、クリックされた広告情報の広告主を特定する特定情報をユーザIDと共にサーバへ通知する手段を具備し、サーバは、前記通知されたユーザID毎の特定情報をその広告主毎にカウントし、このカウント数に応じて課金を算出する手段を具備する構成を探る。

【0026】この構成によれば、契約ユーザの情報端末装置に表示された広告情報を、契約ユーザがクリックした際に、そのクリックされた広告情報の広告主毎のクリック回数に対して課金が算出されるので、広告主毎に割り引き料金を代えて課金を算出することができる。

【0027】本発明の第11の態様は、第10の態様において、サーバは、通知された特定情報を対応する広告情報の詳細情報を情報端末装置へ送信する手段を具備し、情報端末装置は、前記送信してきた詳細情報を表示する手段を具備する構成を探る。

【0028】この構成によれば、ユーザが、表示中の広告情報の詳細情報を見たい場合、クリックするだけで、それを容易に実現することができる。

【0029】本発明の第12の態様は、第8の態様から第10の態様いずれかにおいて、サーバは、広告情報にその詳細情報を含めて送信する手段を具備し、情報端末装置は、表示された広告情報がクリックされた際に前記詳細情報を表示する手段を具備する構成を探る。

【0030】この構成によれば、ユーザが、表示中の広告情報の詳細情報を見たい場合、クリックするだけで、それを容易に実現することができる。

【0031】本発明の第13の態様は、第8の態様から

第12の態様いすれかにおいて、情報端末装置は、広告情報がクリックされた際に、そのクリックされた広告情報の広告主のインターネットホームページへアクセスし、このアクセスに応じて受信された情報を表示する手段を具備する構成を探る。

【0032】この構成によれば、ユーザが、表示中の広告情報の詳細情報を更に知りたい場合に、その広告情報の広告主のホームページへ、表示広告情報をクリックするだけでアクセスし、詳細情報を容易に取得することができる。

【0033】本発明の第14の態様は、第8の態様から第12の態様いすれかにおいて、情報端末装置は、広告情報がクリックされた際に、そのクリックされた広告情報の広告主の電話番号へ発呼する手段を具備する構成を探る。

【0034】この構成によれば、ユーザが、表示中の広告情報の詳細情報を更に知りたい場合に、その広告情報の広告主へ、表示広告情報をクリックするだけで、それを容易に実現することができる。

【0035】本発明の第15の態様は、第8の態様から第14の態様いすれかにおいて、サーバは、全情報端末装置から通知されたクリック情報をカウントする構成を探る。

【0036】この構成によれば、カウント値から、例えば、電話会社が、広告主との間で契約されている広告表示回数となったことを広告主へ通知することができる。

【0037】本発明の第16の態様は、第8の態様から第14の態様いすれかにおいて、サーバは、全情報端末装置から通知された特定情報をその広告主毎にカウントする構成を探る。

【0038】この構成によれば、カウント値から、例えば、電話会社が、広告主との間で契約されている広告表示回数となったことを広告主へ通知することができる。

【0039】本発明の第17の態様は、第15の態様から第17の態様いすれかにおいて、サーバは、カウントの数が予め定められた数となった際に、広告情報の配信を停止する構成を探る。

【0040】この構成によれば、例えば電話会社が広告主との契約に応じた広告の配信を自動的に解除することができる。

【0041】本発明の第18の態様は、第1の態様から第17の態様いすれかにおいて、サーバの機能を基地局装置に具備する構成を探る。

【0042】この構成によれば、基地局装置において、第1の態様から第17の態様いすれかに記載のサーバと同様な作用効果を得ることができる。

【0043】本発明の第19の態様は、第1の態様から第17の態様いすれかにおいて、サーバの機能を基地局制御装置に具備する構成を探る。

【0044】この構成によれば、基地局制御装置におい

て、第1の態様から第17の態様いすれかに記載のサーバと同様な作用効果を得ることができる。

【0045】本発明の第20の態様は、第1の態様から第17の態様いすれかにおいて、情報端末装置の機能を携帯電話機に具備する構成を探る。

【0046】この構成によれば、携帯電話機において、第1の態様から第17の態様いすれかに記載の情報端末装置と同様な作用効果を得ることができる。

【0047】本発明の第21の態様は、第1の態様から第17の態様いすれかにおいて、情報端末装置の機能を携帯テレビ電話機に具備する構成を探る。

【0048】この構成によれば、携帯テレビ電話機において、第1の態様から第17の態様いすれかに記載の情報端末装置と同様な作用効果を得ることができる。

【0049】本発明の第22の態様は、第1の態様から第17の態様いすれかにおいて、情報端末装置の機能を携帯型コンピュータに具備する構成を探る。

【0050】この構成によれば、携帯型コンピュータにおいて、第1の態様から第17の態様いすれかに記載の情報端末装置と同様な作用効果を得ることができる。

【0051】本発明の第23の態様は、サーバが、受信されたユーザIDが予め登録された登録ユーザIDに一致した際に広告画像又はテキストを表示するための広告情報を制御信号に多重化して送信し、情報端末装置が、電源投入後の待ち受け時に広告受信契約者の前記ユーザIDが多重化された制御信号を前記サーバへ送信すると共に前記サーバから送信されてくる広告情報を受信して記憶し、発呼時に前記記憶された広告情報を所定時間表示したのち回線接続を行い、情報端末装置の課金を前記広告情報に応じて算出するようにした。

【0052】この方法によれば、回線接続前に広告情報を受信して記憶し、この記憶広告情報を発呼時に表示するので、従来のように、回線接続後に音声広告が流れる間、回線占有のため回線キャパシティが落ちると言ったことが無くなり、広告情報の表示が、画像又はテキストによって行われるので、従来の音声による広告に比べ、視覚に訴えかける分、広告の効果を十分に發揮することができると共に、通話料金を安価にすることができる。

【0053】本発明の第24の態様は、第23の態様において、情報端末装置で、表示された広告情報をクリックされた際に、前記クリックされたことを示すクリック情報をユーザIDと共にサーバへ通知し、前記サーバで、前記通知されたクリック情報を前記ユーザID毎にカウントし、このカウント数に応じて課金を算出するようにした。

【0054】この方法によれば、契約ユーザの情報端末装置に表示された広告情報を、契約ユーザがクリックした回数に応じて、通話料金を安価とする課金を算出する際に、ユーザが広告を見てクリック動作を行ったことに対して課金が算出されるので、課金算出の根拠をより正

確なものとすることができます。

【0055】本発明の第25の態様は、サーバから広告情報を送信し、情報端末装置で、前記広告情報を受信して表示し、この表示された広告情報をクリックし、このクリックされた広告情報の広告主を特定する特定情報をユーザIDと共に前記サーバへ通知し、前記サーバで、前記通知されたユーザID毎の特定情報をその広告主毎にカウントし、このカウント数に応じて課金を算出するようにした。

【0056】この方法によれば、契約ユーザの情報端末装置に表示された広告情報を、契約ユーザがクリックした際に、そのクリックされた広告情報の広告主毎のクリック回数に対して課金が算出されるので、広告主毎に割り引き料金を代えて課金を算出することができる。

【0057】以下、本発明の実施の形態について、図面を参照して詳細に説明する。

【0058】(実施の形態1) 図1は、本発明の実施の形態1に係る無線電話システムにおける情報端末装置の構成を示すブロック図、また、図2は、本発明の実施の形態1に係る無線電話システムにおける広告用サーバの構成を示すブロック図である。但し、情報端末装置100は、画像伝送及び表示機能付きの無線電話装置(携帯テレビ電話装置)、又は無線電話機能付きのパーソナルコンピュータ、PDA(Personal Digital Assistants)端末装置などを含むものとする。

【0059】この実施の形態1の無線電話システムの特徴は、情報端末装置100からの発呼時に、その表示部に、広告用サーバ200から送信される画像やテキストによる企業広告を表示することで、通信業者が広告主から広告収入を得、その分の通話料金を差し引くことにより、通話料金を通常よりも安くすることにある。

【0060】図1に示す情報端末装置100は、スピーカ101と、マイク102と、キー操作部103と、制御部104と、電源105と、送信部106と、デコーダ107と、受信部108と、アンテナ共用部109と、アンテナ110と、画像メモリ部111と、画像切替部112と、表示部113とを備えて構成されており、無線電話回線を利用した音声通話に加え、画像の伝送及び表示を行うと共に、図2に示す広告用サーバ200から送信されてくる画像及びテキストデータを含む広告情報を受信して広告画像及びテキストを表示するものである。

【0061】広告用サーバ200は、アンテナ201と、アンテナ共用部202と、受信部203と、ユーザID(Identifier)メモリ部204と、ID照合部205と、ユーザ情報メモリ部206と、情報検索部207と、広告情報メモリ部208と、多重化部209と、送信部210とを備えて構成されており、図示せぬ基地局に設置されている。

【0062】また、アンテナ201と、アンテナ共用部

202と、受信部203と、送信部210とが、基地局のものである構成としても良い。

【0063】更に、多重化部209を基地局に設置し、ユーザIDメモリ部204と、ID照合部205と、ユーザ情報メモリ部206と、情報検索部207と、広告情報メモリ部208とを、基地局制御装置、又は他の装置に設置した構成としてもよい。

【0064】情報端末装置100において、アンテナ共用部109は、送信部106から送信される信号をアンテナ110へ出力すると共に、アンテナ110で受信された信号を受信部108へ出力するものである。

【0065】デコーダ107は、受信部108で受信された広告情報の信号をデコードして制御部104へ出力するものである。

【0066】制御部104は、次に説明する制御を行う。マイク102から入力された音声信号を送信部106へ出力すると共に、受信部108で受信された音声信号をスピーカ101へ出力し、また、キー操作部103の発呼及び画像表示等の各種命令操作に応じた制御を行う。

【0067】また、情報端末装置100のユーザIDが広告用サーバ200に登録されたものであれば、電源105のオン状態を検出後に、受信部108で受信され、デコーダ107でデコードされた広告用サーバ200からの広告情報を画像メモリ部111に記憶する制御を行う。但し、画像メモリ部111への記憶は、最新の広告情報が上書きされるようになっている。

【0068】また、発呼時に、この発呼が110及び119番等への緊急発呼でなければ、画像メモリ部111に記憶された広告情報による広告画像又はテキストを画像切替部112を介して表示部113に所定時間表示し、この表示後に回線接続する制御を行う。但し、広告画像又はテキストを表示部113の画面に表示する場合は、発信番号の確認、電波状況表示等の通信に必要な表示のスペース以外に表示するようになっている。

【0069】一方、緊急発呼の場合は、即時回線接続を行って通話状態とする制御を行う。

【0070】また、回線接続後に、キー操作部103から、画像通信、画像撮影、アドレス表示、データ転送等の画像使用モードへの切り替え操作が行われた際に、この時、表示部113に表示されている広告画像又はテキストを消去し、画像切替部112を介してキー操作部103からの画像表示操作に応じた画像を表示部113に表示する制御を行う。

【0071】また、画像メモリ部111に記憶された広告情報を任意に表示する操作に応じて、表示部113に広告画像又はテキストを表示する制御を行うものである。

【0072】広告用サーバ200において、ユーザIDメモリ部204は、広告情報を配信する情報端末装置1

00のユーザIDを記憶するものである。

【0073】ID照合部205は、受信部203で受信されたユーザIDと、記憶ユーザIDとを照合し、受信ユーザIDが記憶ユーザIDに一致していれば、その一致したユーザIDを情報検索部207へ出力するものである。

【0074】ユーザ情報メモリ部206は、広告情報を配信する情報端末装置100の契約者の個人情報（ユーザ情報）を記憶するものである。ユーザ情報とは、契約者個人の志向をジャンル別に示すものである。

【0075】広告情報メモリ部208は、広告主の依頼による広告情報を記憶するものである。

【0076】情報検索部207は、ユーザIDに一致するユーザ情報をユーザ情報メモリ部206から読み込み、このユーザ情報に適合する広告情報を広告情報メモリ部208から読み込んで多重化部209へ出力するものである。

【0077】多重化部209は、基地局が情報端末装置100へ送信する制御信号に広告情報を多重化して送信部210へ出力するものである。

【0078】次に、このような構成の無線電話システムにおける広告情報配信処理を図3に示すフロー図を参照して説明する。

【0079】ステップST301では、情報端末装置100の電源105がオン状態とされ、このオン状態の後に、ステップST302において、情報端末装置100と広告用サーバ200との間で制御信号の送受信が行われる。

【0080】この際、ステップST303において、広告用サーバ200が情報端末装置100のユーザIDを確認することによって加入者か非加入者かを判定する。

【0081】即ち、ID照合部205が、情報端末装置100のユーザIDがユーザIDメモリ部204に登録されたユーザIDと一致するか否かを照合する。

【0082】この結果、不一致であれば、広告用サーバ200は広告情報を送信せず、ステップST304において、情報端末装置100は通常の動作を行う。

【0083】一方、一致していれば、広告用サーバ200の情報検索部207が、ユーザIDに対応付けられたユーザ情報をユーザ情報メモリ部206から読み込み、このユーザ情報に対応付けられた広告情報を広告情報メモリ部208から読み込んで多重化部209へ出力する。

【0084】更に、多重化部209が、広告情報を制御信号に多重化して送信部210へ出力し、送信部210が多重化制御信号をアンテナ共用部202及びアンテナ201を介して情報端末装置100へ送信する。

【0085】そして、ステップST305において、情報端末装置100が広告情報を受信して制御部104の制御によって画像メモリ部111に記憶する。

【0086】その後、ステップST306において、情報端末装置100から発呼動作が行われると、ステップST307において、制御部104が緊急発呼か否かを判定する。

【0087】この結果、緊急発呼でなければ、ステップST308において、画像メモリ部111に記憶された広告情報による広告画像又はテキストを画像切替部112を介して表示部113に所定時間表示し、この表示後に回線接続を行い、ステップST309において、通話

10 状態とする。

【0088】一方、緊急発呼の場合は、ステップST309において、即時回線接続を行って通話状態とする。

【0089】この通話状態となった後、ステップST310において、制御部104で、キー操作部103で画像使用モードへの切り替え操作が行われたと判定されると、表示部113に表示されている広告画像又はテキストを消去し、画像切替部112を介してキー操作部103からの画像表示操作に応じた画像を表示部113に表示する。

20 【0090】一方、画像使用モードへの切り替え操作が行われなければ、ステップST312において、広告画像又はテキストの表示を継続する。

【0091】このような動作の後、ステップST313において、通話終了の動作、即ち回線接続が断とされると、ステップST314において、待ち受け状態となる。その後、ステップST315において、情報端末装置100の電源105がオフされると、処理が終了する。

【0092】次に、情報端末装置100から広告主へ直接発呼する場合の処理を図4に示すフロー図を参照して説明する。

【0093】ステップST401において、情報端末装置100が待ち受け状態にある場合に、ステップST402で、情報端末装置100のキー操作部103から広告表示操作が行われたとすると、ステップST403において、制御部104の制御により画像メモリ部111に記憶されている広告情報が、表示部113に表示される。

40 【0094】この後、ステップST404において、使用者が、現在表示されている広告の広告主へ電話を行うので有れば、ステップST405において、ファンクションキー又は画面のタッチなどの特定操作による発呼を行う。つまり、広告情報に広告主への電話番号情報を入れておき、その特定操作に応じて制御部104がその電話番号へ発呼を行う。

【0095】これによってステップST406において、通話が行われる。その後、ステップST407において、通話が終了すると、ステップST408において、待ち受け状態となる。

50 【0096】一方、電話を行わない場合に、使用者が、

ステップST409において、次の広告を見ると判断し、ステップST410において、広告画像歩進操作を行うと、ステップST411で、制御部104が、次アドレスデータ（次の広告情報）が有るか否かを判定する。

【0097】この結果、次の広告情報があれば、ステップST403に戻って、広告画像又はテキストの表示を行う。一方、無ければステップST412において、先頭アドレスの広告情報に戻り、ステップST403で、その広告画像又はテキストを表示する。

【0098】また、ステップST409の判断で、次の広告を見ないと判断した場合は、ステップST413において、制御部104が表示部113から広告画像又はテキストを消去し、ステップST408の待ち受け状態とする。

【0099】以上説明した他、広告用サーバ200において、情報検索部207が、ユーザIDの照合が取れた後、契約者の志向でない任意の広告情報を広告情報メモリ部208から読み出し、この広告情報が送信されるようにしてよい。

【0100】また、広告主との契約で、何台の情報端末装置100へ広告情報を配信するかを決めておき、情報検索部207が、その配信数に応じた数の情報端末装置100へ広告情報を配信する制御を行うようにしてもよい。

【0101】このように、本実施の形態の無線電話システムによれば、広告用サーバ200において、受信されたユーザIDが予め登録された登録ユーザIDとをID照合部205で照合し、双方が一致した際に、情報検索部207で、広告情報メモリ部208から広告画像又はテキストを表示するための広告情報を読み出し、この広告情報を多重化部209で制御信号に多重化して送信し、情報端末装置100において、制御部104の制御によって、電源投入後の待ち受け時に広告受信契約者のユーザIDが多重化された制御信号を広告用サーバ200へ送信すると共に広告用サーバ200から送信されてくる広告情報を受信して画像メモリ部111に記憶し、この記憶された広告情報を発呼時に表示部113に表示するように構成した。

【0102】これによって、回線接続前に広告情報を受信して記憶し、この記憶広告情報を発呼時に表示するので、従来のように、回線接続後に音声広告が流れる間、回線占有のため回線キャパシティが落ちると言ったことが無くなり、広告情報の表示が、画像又はテキストによって行われるので、従来の音声による広告に比べ、視覚に訴えかける分、広告の効果を十分に發揮することができる。

【0103】また、広告用サーバ200が、情報検索部207で、一致ユーザIDの広告受信契約者の志向を示すユーザ情報をユーザ情報メモリ部206から読み出

し、このユーザ情報に対応した広告情報を広告情報メモリ部208から読み出し、この広告情報を制御信号に多重化部209で多重化して送信するようにしたので、情報端末装置100に所有者の志向に適合した広告内容が表示され、広告の効果をより向上させることができ、また、所有者が、より必要とする広告情報を表示する際にスピーディに検索することができる。

【0104】また、広告用サーバ200が、広告情報の送信時に、予め広告主との間で取り決められた広告情報10の配信先の数に対応する台数の情報端末装置100へ広告情報を送信するようにしたので、一定の比率によって広告情報を配信することができる。

【0105】また、情報端末装置100が、発呼時に画像メモリ部111に記憶された広告情報を所定時間、表示部113に表示したのち回線接続を行うようにしたので、ユーザが通話を行う前に必ず広告情報を表示することができ、更に回線接続前に表示するので、従来のように回線占有のため回線キャパシティが落ちると言ったことが無くなる。

20 【0106】また、情報端末装置100が、発呼が緊急発呼であれば広告情報の表示を行わず、即時回線接続を行うようにしたので、110及び119番等の緊急発呼には即時通話を行うことができる。

【0107】また、情報端末装置100が、回線接続時に広告情報表示以外の画面使用操作が行われた際に、広告情報の表示を消去するようにしたので、他の画像通信、画像撮影、アドレス表示、データ転送等での画像表示を行うことができる。

【0108】また、広告用サーバ200が、広告情報に30 広告主の電話番号を含めて送信し、情報端末装置100が、広告表示操作に応じて任意の広告情報を表示し、この表示された広告情報の電話番号へ特定操作によって発呼するようにしたので、ユーザが所望の広告主へ容易かつ迅速に発呼することができる。

【0109】（実施の形態2）図5は、本発明の実施の形態2に係る無線電話システムにおける広告用サーバの構成を示すブロック図である。

【0110】但し、この図5に示す実施の形態2の広告用サーバ500と通信を行う情報端末装置は、図1に示した情報端末装置100であるとし、実施の形態1で説明した以外に、後述で説明する機能を備える。

【0111】この実施の形態2の無線電話システムの特徴は、情報端末装置100からの発呼時に、その表示部に、広告用サーバ500から送信される画像やテキストによる企業広告を表示し、この表示された広告画像にユーザがクリック操作等によってアクセスした場合に、その分の通話料金を差し引くようにしたことにある。

【0112】図5に示す広告用サーバ500は、基本広告画像送出部501と、詳細広告画像送出部502と、50 広告画像送出制御部503と、多重化処理部504と、

通信制御部505と、制御部506と、ユーザID管理部507と、ID別クリック数カウンタ部508と、ID別企業アクセス回数カウンタ部509と、課金算定部510と、企業アクセス回数カウンタ部511と、広告クリック数カウンタ部512とを備えて構成されている。

【0113】また、多重化処理部504の入力側には、コンテンツサーバ513が接続され、課金算定部510には、課金処理システム514が接続されている。

【0114】基本広告画像送出部501は、企業や団体等の広告主の広告を、画像、文字、マーク等で情報端末装置100に表示するための基本広告画像情報を送出するものである。

【0115】その基本広告画像情報は、実施の形態1で説明したように、契約ユーザの通話料金を割り引くために行われるものであり、例えば基地局が情報端末装置100へ送信する制御信号に多重化されて送信されるようになっている。

【0116】詳細広告画像送出部502は、情報端末装置100に表示された広告画像を、契約ユーザがクリックした場合に、その広告画像のより詳細な広告を表示するための詳細広告画像情報を送出するものである。

【0117】その詳細広告画像情報は、基本広告画像情報と共に制御信号に多重化されて送信される場合と、情報端末装置100に表示された広告画像を、契約ユーザがクリックした場合に送信される場合がある。

【0118】広告画像送出制御部503は、基本広告画像送出部501及び詳細広告画像送出部502から多重化処理部504へ情報を送出するように制御するものである。

【0119】多重化処理部504は、基本広告画像情報及び詳細広告画像情報と、コンテンツサーバ513からのニュース、株、音楽等のコンテンツ情報との何れか、又は全てを多重化して通信制御部505へ出力するものである。

【0120】通信制御部505は、多重化処理部504からの多重化情報を、通信回線を介して情報端末装置100へ送信すると共に、情報端末装置100から通信回線を介して送信されてきた通信情報を受信し、制御部506へ出力するものである。

【0121】ユーザID管理部507は、通信制御部505で受信された通信情報の中から制御部506で抽出された電話番号等のユーザIDを契約ユーザIDと照合し、これで一致したユーザIDの情報を出力するものである。

【0122】ID別クリック数カウンタ部508は、ユーザID管理部507の照合で一致したユーザID毎のクリック数をカウントするものである。クリック数とは、契約ユーザが情報端末装置100に表示された広告を、更に詳細に知るために、キー操作部103の操作で

クリックした回数である。

【0123】また、このクリック数には、キー操作部103から広告画像の広告主のインターネットのホームページにアクセスするクリック操作が行われた場合、又はユーザが、現在表示されている広告の広告主へ直接アクセスする電話操作が行われた場合のものも含まれる。

【0124】直接アクセスとは、ファンクションキー又は画面のタッチなどの特定操作による発呼を行うことであり、例えば、広告情報に広告主への電話番号情報を入れておき、その特定操作に応じて制御部104がその電話番号へ発呼を行なっている。

【0125】ID別企業アクセス回数カウンタ部509は、ユーザID管理部507の照合で一致したユーザID毎のクリック等による広告主へのアクセス回数を、広告主毎にカウントするものである。

【0126】課金算定部510は、1つ目に、ID別クリック数カウンタ部508でカウントされたユーザID毎のクリック数に応じて、該当契約ユーザに対する課金を算定し、これを課金処理システム514へ出力するものである。その算定は、ユーザが電話会社と最初に契約した通話料金の基本額を、クリック数に応じて割り引くように行われる。

【0127】2つ目に、ID別企業アクセス回数カウンタ部509でユーザID毎にカウントされた広告主毎のアクセス回数に応じて、該当契約ユーザに対する課金を算定し、これを課金処理システム514へ出力するものである。その算定は、ユーザが電話会社と最初に契約した通話料金の基本額を、クリック数に応じて割り引くように行われる。

【0128】課金処理システム514は、課金算定部510で算定されたユーザID毎の課金情報から月毎の視聴料金を計算するものである。

【0129】広告クリック数カウンタ部512は、通信制御部505で受信された通信情報の中から制御部506で抽出された全契約ユーザのクリック情報をカウントするものである。つまり、全ての契約ユーザがクリックを行う毎にカウント値が「1」づつカウントアップするようになっている。

【0130】企業アクセス回数カウンタ部511は、通信制御部505で受信された情報信号の中から制御部506で全契約ユーザのクリック等による広告主へのアクセス回数を、広告主毎にカウントするものである。つまり、全ての契約ユーザの情報端末装置100において広告画像にアクセスされる毎に、そのアクセスされた広告主毎のカウント値が「1」づつカウントアップするようになっている。

【0131】各カウンタ部511、512のカウント値は、広告主と電話会社との間で契約されている値となつたことを広告主へ通知したり、カウント値が契約回数となつた場合に、その広告主の広告画像情報の配信を停止

する等の処理に用いられる。

【0132】制御部506は、上記で説明した制御の他に、広告用サーバ500全体の制御、例えばクロック信号の発生タイミング制御などを司るものである。

【0133】但し、広告用サーバ500は、実施の形態1で説明した広告用サーバ200の機能を併せ持っていてよい。

【0134】情報端末装置100のキー操作部103は、実施の形態1で説明した以外に、表示部113に表示された広告画像のクリック、及び広告画像の広告主のインターネットのホームページにアクセスするクリック操作等をユーザが行う機能を備えるものである。

【0135】制御部104は、実施の形態1で説明した制御の他に、クリック情報を広告用サーバ500へ通知する際に、クリックした広告画像の広告主を通知する制御、また、キー操作部103から広告画像の広告主のインターネットのホームページにアクセスするクリック操作が行われた場合、そのクリック情報を上記クリック情報同様に広告用サーバ500へ送信するための呼接続及びその後の呼切断を行うと共に、図示せぬインターネットプロバイダへ呼接続する制御を行う機能を備えるものである。

【0136】次に、このような構成の実施の形態2の無線電話システムにおける広告情報配信処理を参照して説明する。

【0137】まず、情報端末装置100の電源105がオン状態とされ、このオン状態の後に、情報端末装置100と広告用サーバ500との間で制御信号の送受信が行われる。

【0138】この際、広告用サーバ500が情報端末装置100のユーザIDを確認することによって加入者か非加入者かを判定し、この結果、加入者であれば、広告用サーバ500は、広告情報を送信する。

【0139】この送信は次のように行われる。広告画像送出制御部503の制御によって、基本広告画像送出部501から多重化処理部504へ基本広告画像情報が送出される。

【0140】この送出された情報が、多重化処理部504によってコンテンツサーバ513からのコンテンツ情報と共に多重化されるか、又は単独で、通信制御部505の制御によって情報端末装置100へ送信される。

【0141】この送信された情報は、情報端末装置100で受信され、制御部104の制御によって画像メモリ部111に記憶される。

【0142】その後、情報端末装置100においてユーザによる発呼操作が行われると、画像メモリ部111に記憶された基本広告画像情報による広告画像が表示部113に所定時間表示され、この表示後に回線接続が行われて通話状態となる。

【0143】また、表示部113に広告画像が表示され

た状態で、ユーザが、その表示広告の更に詳細な広告を見るために、その表示広告画像を、キー操作部103のクリック操作によってクリックすると、制御部104において、そのクリック情報を広告用サーバ500へ通知する制御、クリックされた広告画像の広告主を通知する制御、及び広告用サーバ500へ発呼する制御が行われる。

【0144】この制御に応じて、広告用サーバ500への発呼による呼接続が行われ、クリックされた広告画像の広告主を示す情報にユーザIDの付加されたクリック情報が、広告用サーバ500へ送信される。

【0145】この送信されたクリック情報は、広告用サーバ500の通信制御部505で受信されたのち制御部506へ出力され、制御部506において、ユーザIDが抽出され、この後、ユーザID管理部107において、その抽出されたユーザIDが照合され、これで一致したユーザIDのクリック情報が、ID別クリック数カウンタ部508及びID別企業アクセス回数カウンタ部509へ出力される。

【0146】ID別クリック数カウンタ部508においては、その照合で一致したユーザID毎のクリック数がカウントされ、このカウント値が課金算定部510へ出力される。

【0147】また、ID別企業アクセス回数カウンタ部509においては、その照合で一致したユーザID毎のクリック等による広告画像へのアクセス回数が、広告主毎にカウントされ、このカウント値が課金算定部510へ出力される。

【0148】課金算定部510においては、そのユーザIDのカウント値に応じて、該当契約ユーザに対する課金が算定される。即ち、ユーザが電話会社と最初に契約した通話料金の基本額を、ユーザID毎のカウント値に応じて割り引く算定が行われ、この算定結果が課金処理システム514へ出力される。

【0149】課金処理システム514においては、その算定されたユーザID毎の課金情報から月毎の視聴料金が計算される。

【0150】従って、ユーザは、表示中の広告画像をクリックすることによって、そのクリック数に応じた割引率で通話を行うことができる。

【0151】また、通信制御部505で受信されたクリック情報が制御部506へ出力された時点で、制御部506において、詳細広告画像送出制御が行われる。この制御によって、広告主毎のクリック情報の歩進回数に応じたその広告主の詳細広告画像情報が、広告画像送出制御部503の制御によって詳細広告画像送出部502から多重化処理部504へ送出される。

【0152】この送出された詳細広告画像情報が多重化処理部504を介して情報端末装置100へ送信されると、その制御部104の制御によって、表示部113に

詳細広告画像情報に応じた広告画像が表示される。

【0153】一方、広告用サーバ500から予め基本広告画像情報に詳細広告画像情報を含めて送出する制御を行われている場合は、ユーザがクリック操作を行い、このクリック情報を制御部104へ出力された時点で、制御部104において、前記の広告主のクリック情報に対応する更に詳細な広告画像情報を表示する制御が行われる。

【0154】また、広告用サーバ500の通信制御部505で受信されたクリック情報を制御部506へ出力された時点で、制御部506においては、そのクリック情報から、契約ユーザの情報端末装置100で広告画像がクリックされたことが抽出され、この抽出情報が広告クリック数カウンタ部512へ出力されると共に、情報端末装置100でクリック等により広告主へアクセスされたことが抽出され、この抽出情報が企業アクセス回数カウンタ部511へ出力される。

【0155】そして、広告クリック数カウンタ部512において、全契約ユーザにおけるクリック数のカウント値がカウントアップされる。例えば、全契約ユーザの1万人が1回クリックしたとすると、カウント値が1万回となる。

【0156】また、企業アクセス回数カウンタ部511において、全契約ユーザにおけるアクセス数のカウント値がカウントアップされる。例えば、全契約ユーザの1万人が1回アクセスしたとすると、カウント値が1万回となる。

【0157】これらカウント値から、電話会社は、広告主との間で契約されている広告表示回数となったことを広告主へ通知したり、カウント値が契約回数となった場合に、その広告主の広告画像情報の配信を停止する処理を行う。これら通知及び停止処理は、図示せぬ通知手段及び広告配信停止手段を広告用サーバ500に備えることによって実現することができる。

【0158】また、ID別クリック数カウンタ部508及びID別企業アクセス回数カウンタ部509におけるカウント値には、キー操作部103から広告画像の広告主のインターネットのホームページにアクセスするクリック操作、及び実施の形態1で説明した広告主へ直接発呼する場合の特定操作が行われた場合のものも含まれる。

【0159】ホームページにアクセスするクリック操作が行われた場合は、制御部104において、そのクリック情報を広告用サーバ500へ通知する制御及び発呼後に呼接続／切断する制御が行われ、この後、インターネットプロバイダへ呼接続する制御が行われる。

【0160】この制御に応じてインターネットプロバイダへの呼接続が実行されると、広告主のインターネット情報が受信され、この受信されたインターネット情報が、制御部104の制御に応じて表示部113に表示さ

れる。

【0161】このように、実施の形態2の無線電話システムによれば、情報端末装置100において、表示部113に表示された広告情報をキー操作部103からの操作でクリックし、このクリックされたことを示すクリック情報をユーザIDと共に、制御部104の制御によって広告用サーバ500へ通知し、広告用サーバ500のID別クリック数カウンタ部508で、その通知されたクリック情報をユーザID毎にカウントし、このカウント数に応じて課金算定部510が課金を算出するように構成した。

【0162】これによって、契約ユーザの情報端末装置に表示された広告情報を、契約ユーザがクリックした回数に応じて、通話料金を安価とする課金を算出する際に、ユーザが広告を見てクリック動作を行ったことに対して課金が算出されるので、課金算出の根拠をより正確なものとすることができる。

【0163】また、情報端末装置100の制御部104が、クリックされた広告情報の広告主を特定する特定情報をユーザIDと共にサーバ500へ通知し、サーバ500のID別企業アクセス回数カウンタ部509が、その通知されたユーザID毎の特定情報をその広告主毎にカウントし、このカウント数に応じて課金算定部510が課金を算出するように構成した。

【0164】これによって、契約ユーザの情報端末装置に表示された広告情報を、契約ユーザがクリックした際に、そのクリックされた広告情報の広告主毎のクリック回数に対して課金が算出されるので、広告主毎に割り引き料金を代えて課金を算出することができる。

【0165】また、サーバ500の制御部506の制御によって、通知された特定情報に対応する広告情報の詳細情報を情報端末装置100へ送信し、情報端末装置100が、その送信されてきた詳細情報を表示するようにしたので、ユーザが、表示中の広告情報の詳細情報を見たい場合、クリックするだけで、それを容易に実現することができる。

【0166】また、サーバ500の制御部506の制御によって、広告情報にその詳細情報を含めて送信し、情報端末装置100が、その詳細情報を記憶しておき、表示された広告情報がクリックされた際に、その詳細情報を表示するようにしたので、ユーザが、表示中の広告情報の詳細情報を見たい場合、クリックするだけで、それを容易に実現することができる。

【0167】また、情報端末装置100の制御部104によって、広告情報がクリックされた際に、そのクリックされた広告情報の広告主のインターネットホームページへアクセスし、このアクセスに応じて受信された情報を表示するようにしたので、ユーザが、表示中の広告情報の詳細情報を更に知りたい場合に、その広告情報の広告主のホームページへ、表示広告情報をクリックするだ

けでアクセスし、詳細情報を容易に取得することができる。

【0168】また、情報端末装置100の制御部104によって、広告情報がクリックされた際に、そのクリックされた広告情報の広告主の電話番号へ発呼するようにしたので、ユーザが、表示中の広告情報の詳細情報を更に知りたい場合に、その広告情報の広告主へ、表示広告情報をクリックするだけで、それを容易に実現することができる。

【0169】また、サーバ500の広告クリック数カウンタ部512が、全情報端末装置100から通知されたクリック情報をカウントするようにしたので、カウント値から、例えば、電話会社が、広告主との間で契約されている広告表示回数となったことを広告主へ通知することができる。

【0170】また、サーバ500の企業アクセス回数カウンタ部511が、全情報端末装置100から通知された特定情報をその広告主毎にカウントするようにしたので、カウント値から、例えば、電話会社が、広告主との間で契約されている広告表示回数となったことを広告主へ通知することができる。

【0171】また、サーバ500に、カウントの数が予め定められた数となった際に、広告情報の配信を停止する機能を備えたので、例えば電話会社が広告主との契約に基づいた広告の配信を自動的に解除することができる。

[0172]

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、回線接続後に通話以外の目的で回線のキャバシティを落*

* とすることが無く、緊急発信時には即時通話を行うことができ、また広告の効果を十分に發揮することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態1に係る無線電話システムにおける情報端末装置の構成を示すブロック図

【図2】実施の形態1に係る無線電話システムにおける広告用サーバの構成を示すブロック図

【図3】実施の形態1に係る無線電話システムにおける広帯域搬送信号処理の動作を説明するためのフロー図

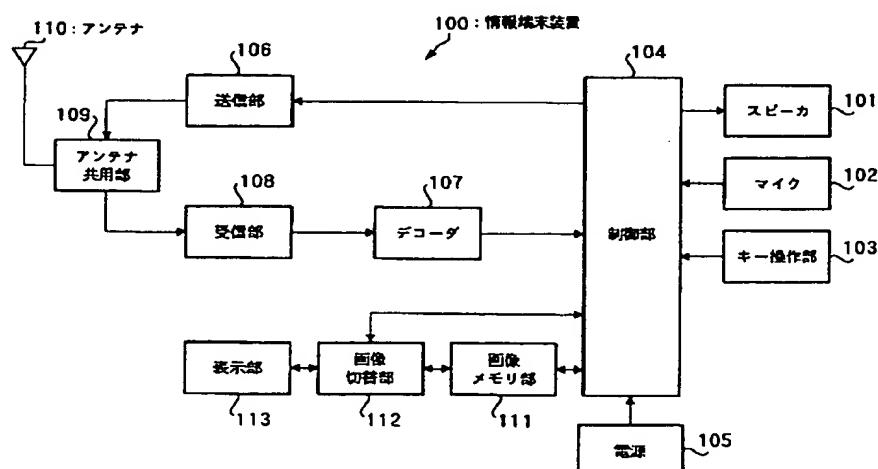
10 【図4】実施の形態1に係る無線電話システムの情報端末装置における廣告主への直接発呼処理の動作を説明するためのフロー図

【図5】本発明の実施の形態2に係る無線電話システムにおける広告用サーバの構成を示すブロック図

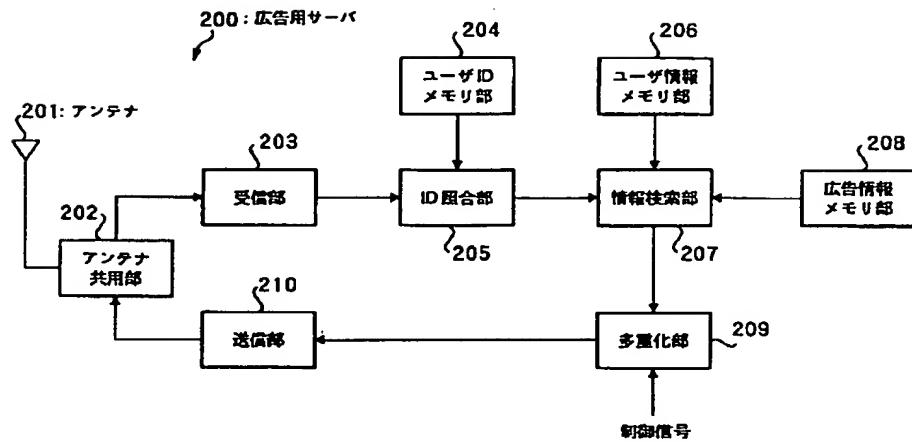
【符号の説明】

	100	情報端末装置
	104	制御部
	105	電源
	111	画像メモリ部
20	113	表示部
	200	広告用サーバ
	204	ユーザIDメモリ部
	205	ID照合部
	206	ユーザ情報メモリ部
	207	情報検索部
	208	広告情報メモリ部
	209	多重化部

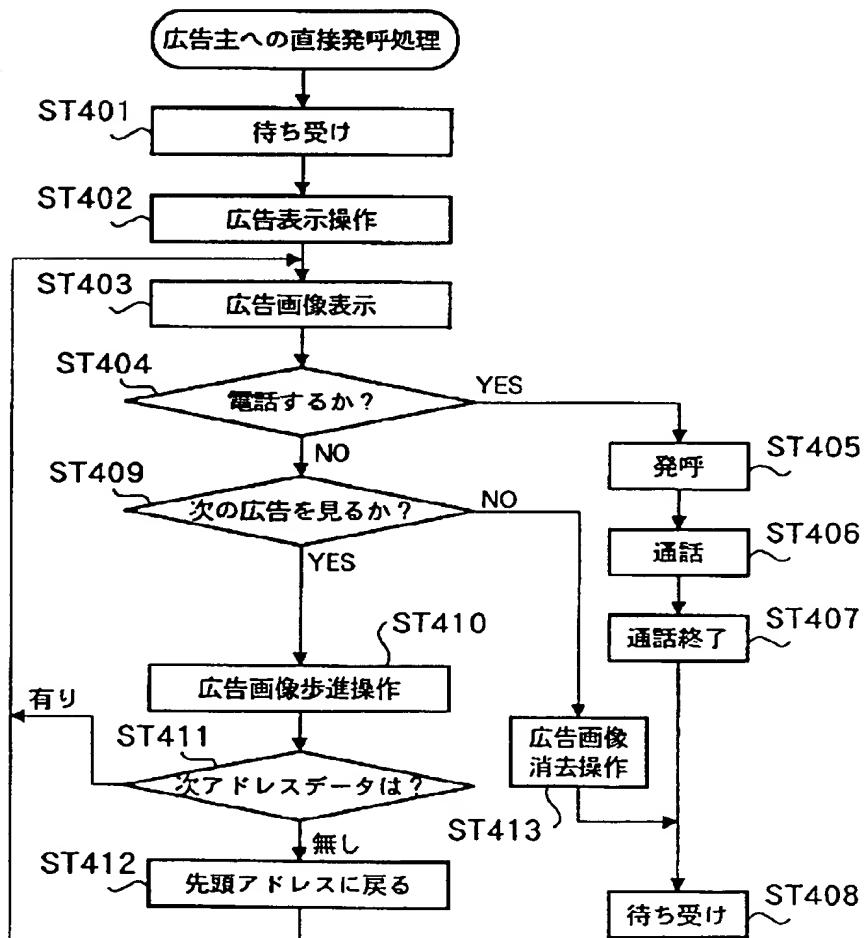
[३१]



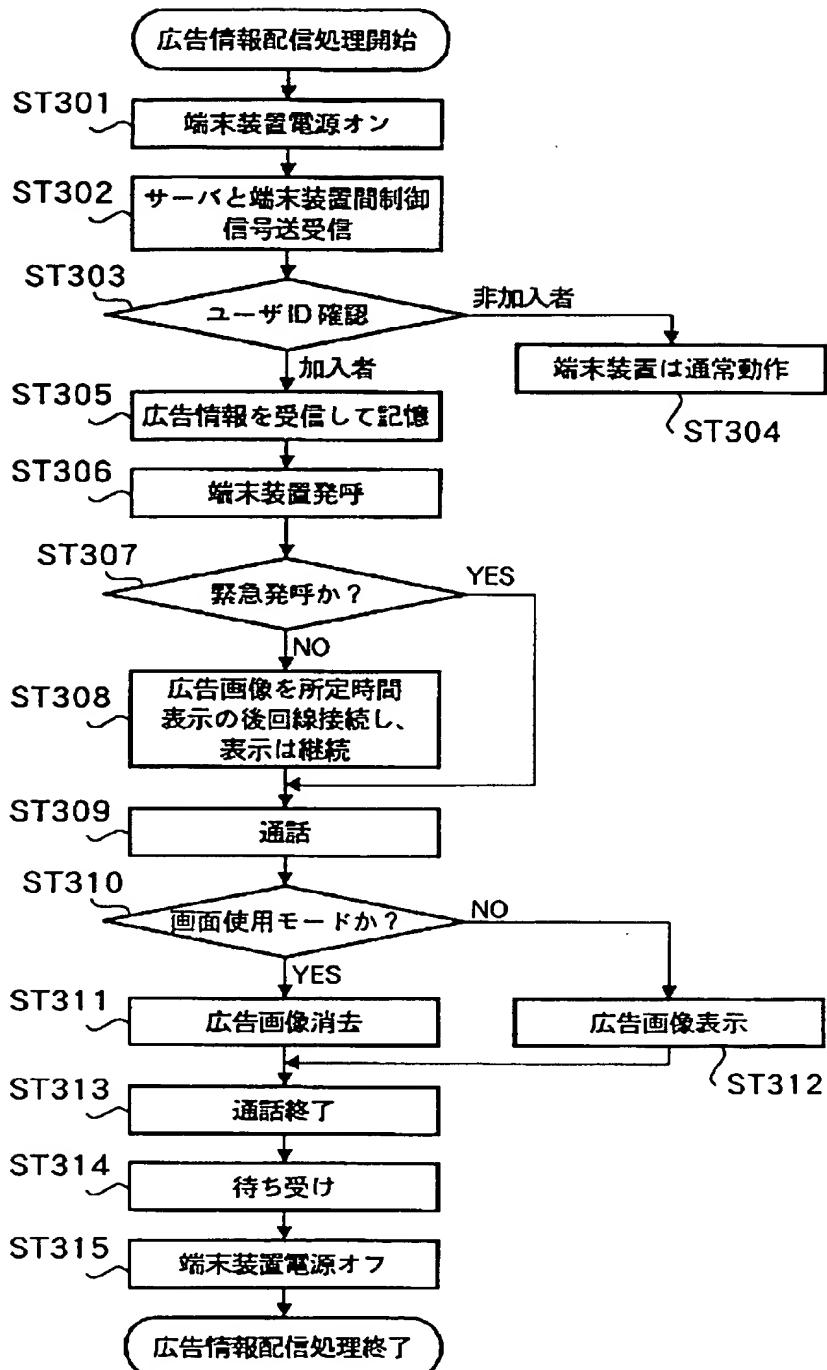
[図2]



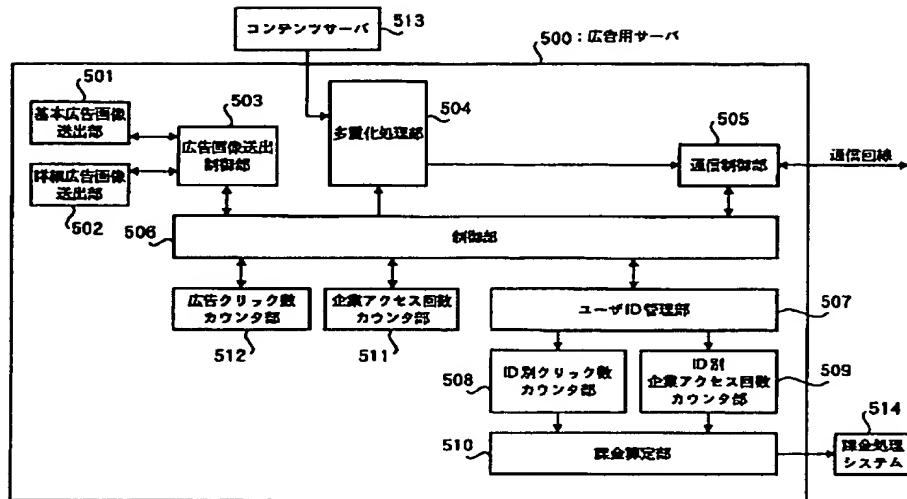
[図4]



【図3】



[図5]



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.